

# リレートーク

成人式の司会頑張ります！  
一生に一度の晴れ舞台を華やかに

305



蛭田美那さん（左）・伊藤詩織さん  
市成人式勿来地区実行委員会委員。  
成年年齢が18歳に引き下げられた後、  
20歳での開催が決定した初の成人式  
での活躍を誓う。

Q 成人式地区実行委員会に参加したきっかけを教えてください。

伊藤さん 友達に誘われて、社会人として働く新成人として参加しています。

蛭田さん 私は中学校の先生からお誘いの電話がありました。成人式という大きな式で良い思い出を作りたい思いで参加しています。

Q 20歳という節目はやはり特別ですか。

伊藤さん 20歳といえは振り袖です。18歳で振り袖よりも20歳の方が、10代から大人の20代へ、という節目をより感じられます。

また、お酒が飲めることが大人の代名詞という感覚は強いです。18歳から社会人として働いています。18歳勤め先はお酒も販売しているお店な

ので、20歳で飲むお酒は格別だろうと思っていました。

蛭田さん 20歳になると楽しいことやできることが増えると同時に、自分で責任を負うことも増えました。これからは自分で判断して契約などをする場面がたくさん出てきます。親に頼ることが減り、心配な気持ちもありますが、自立の節目でもあるのかなと思います。

Q これまで感じていたわきに対する気持ちに変化はありましたか。

伊藤さん 私はアルバイトで働いていた会社に就職しました。高校生の頃はお金のために働く意識が強かったのですが、社会人として働いている今は、地域の人のつながりを感じられることが楽しいです。一方的ではなく双方の付き合い方ができ



成人式本番に向けてリハーサル

て「いわきっていいな」ということが増えました。

蛭田さん 私は学生ですが、研修で市内の病院に行くことが多く、そこでの交流を通して高校生の頃は知ることができなかったことを学んでいます。地元の方とお話しして、地元を知ること愛着が湧きました。

Q どのような成人式にしたいですか。

伊藤さん・蛭田さん 同級生と久しぶりに会える場として、お互いに素敵な姿で再会し、他愛ない話をたくさんできる、思い出の場所になるようにミーティングを重ねています。

これまで私たちを支えてくれた親や友達、関わった方への感謝の気持ちも込めて、華やかな成人式にしたいです。



実行委員の皆さんで当日の段取りを確認